

授業科目 在宅看護学実習

【担当教員名】 杉本 洋 他	対象学年	4	対象学科	看護	
	開講時期	前期	必修選択	必修	
	単位数	2	時間数	90	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 在宅の場における看護活動の実際を学び、在宅看護に必要な知識・技術を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 在宅の場における看護の役割を説明・考察できる。 2. 在宅の場における療養者や療養環境の理解を深め、包括的な視点から看護計画を立案できる。 3. 多様な機関および職種、サービス提供体制等、在宅療養を支えるシステムについて説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	訪問看護ステーションや訪問看護部の組織・機能・活動を調べる。 実習施設における看護師がどのような役割を果たしているかを、実習施設でのオリエンテーションや訪問等を通して学ぶ。 受け持ち利用者の看護展開、受け持ち以外の同行訪問、その他在宅療養者が利用するサービス（通所サービス）等の実習を行い、在宅の場における療養者や療養環境の理解を深める。 受け持ち事例を設定し、看護展開を行う際に、包括的な視点を意識し、看護計画を立案する。 看護職が他の保健、医療、福祉職等どのように連携しているかを多職種間で行われるカンファレンスや、訪問等において連携がうかがえる状況を通して連携体制について学ぶ。 関係者との連携の機会、または訪問看護以外の利用サービスにかかわる機会があれば可能な限り参加し、社会資源や連携についての理解を深める。			1 1 2 2 3 3	担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他 担当：杉本 洋 他
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 実習の取り組み状況 40%程度 実習記録等 60%程度			【履修上の留意点】		